

第3次中野市総合計画前期基本計画（案）のパブリックコメント実施結果

1 結果の概要

- (1) 意見の募集期間 令和7年11月10日(月)～12月5日(金)
- (2) 提出者数及び件数 8名、8件
- (3) 提出方法 LINE：7件、持参：1件

2 意見の概要及びそれに対する市の考え方

- ※ いただいたご意見について、趣旨を損なわない範囲で要約または集約させていただきましたので、ご了承ください。
- ※ いただいたご意見に対する市の考え方とあわせて、ご意見を受けての前期基本計画（案）の修正箇所（修正の有無）もお示ししております。

| No | 意見概要 | ○意見に対する市の考え方 | 計画への反映 |
|----|--|--|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人移民、生活保護について、安易に受けないでいただきたい。 ・ソーラーパネルをやたらに設置しないよう、切に願う。跡継ぎが居ない畑に設置する等、後世の住民に負の遺産を残さないでほしい。温暖化の原因にもなるし、火災が起きたら消せない等、近隣住民にも迷惑がかかる。 ・中野市はまだ山を丸裸にしてソーラーパネルを設置していないが、森林伐採をしたら植樹して復活するのに、何百年かかるのか考えていただきたい。 ・山ノ内の志賀高原では、当時市川海老蔵さんがエビモリ活動をし、森を作ろうとしてくださったことがある。そのような方が居る一方で、空き地をソーラーパネルだらけにするのは残念。設置する際は厳しい条件を設けて、最後に誰が責任を取るのか親族で契約書を交わし提出するくらいの規約を作っていただきたい。子ども達が未来を担うことを忘れずに。 | <ul style="list-style-type: none"> ○外国人移民・生活保護制度は、国の法律制度に基づくものであるため、市としては対応できかねます。 ○第3次中野市総合計画前期基本計画（案）(以下、「計画(案)」という。) p51「5-4-02 地球環境保全の推進」でお示ししているとおり、脱炭素化社会の構築に向けた取組を推進していきたいと考えております。 | 計画（案）P51 「①脱炭素化社会の構築に向けた取組の推進」の取組の内容に「周辺環境にも配慮した」を追加。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・美術館をすることについて反対。なぜなら中途半端で、あえてあの場所に作らなくてもいいと思うから。 ・貴重な樹木等をなくして作らなくてもいい。美術館はリピート率が低いと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○美術館建設の意義や運用方法、スケジュール等について、市民説明会を通じてご説明するほか、随時議会や広報なかの、市公式ホームページ等を通じて市民の皆さまへお知らせし、ご理解をいただけるよう努めて参ります。 | なし |

| No | 意見概要 | ○意見に対する市の考え方 | 計画への反映 |
|----|---|---|---|
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・今現在、教育・介護・安心の子育てができる中野市作りに必要不可欠の財源確保が必要と考える。 ・企業誘致も大切だが、市の特産物を他県もしくは海外に発信する必要があると考える。 ・特産物とは、市の農業、キノコ産業を発信しなければならないが、それだけでは他県でも沢山あると思う。 | <p>○計画(案) p42「5-1-01 魅力の発信と交流・関係人口の拡大」でお示ししているとおり、地元農産物をはじめとした市の特産品や魅力を市内外に積極的に発信していきたいと考えております。</p> <p>○貴重なご意見として承ります。</p> | なし |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民、法人、ふるさと納税等々の税収入を、スポーツを頑張っている小中高生の備品、施設改修費にあて、集団行動と仲間の大切さを学べる環境整備に充ててもらいたい。 ・美術館は、ただの箱もの。その施設維持費、人件費を子どもたちのために投資してもらいたい。 ・将来都市像の「文化が香る」と、現状が乖離していると思う。 ・まずは、ヒーターも扇風機も使えない市民体育館の改修を切に要望する。豊野、須坂、飯山等、近隣の体育館の中で、1番ひどい。 | <p>○美術館建設の意義や運用方法、スケジュール等について、市民説明会を通じてご説明するほか、随時議会や広報なかの、市公式ホームページ等を通じて市民の皆さまへお知らせし、ご理解をいただけるよう努めて参ります。</p> <p>○市民体育館に移動式冷暖房機を設置し、令和8年4月から運用を開始する予定です。</p> <p>○計画(案) p39「4-2-02 スポーツ・レクリエーションの振興」でお示ししているとおり、市民誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりを進めていきたいと考えております。</p> | 計画(案) P39「①多くの市民が気軽に様々なスポーツを楽しめる環境の充実」の取組の内容に「誰もが安全で気軽に利用できるよう、施設の維持・整備を推進します。」を追加。 |
| 5 | <p>①閉校による旧校舎の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う学校の統合に伴い、旧校舎の有効な活用を求める。 ・一つの案として、市内に運動施設(トレーニングジム)が少ないため、市運営で安価で容易にトレーニングできる施設がほしい。 ・空いた時間にトレーニングをしたい中高年、市外学校で運動部に所属している学生で土日など施設が使えない場合でもトレーニングしたい生徒がいるため。 | ○貴重なご意見として承ります。 | なし |

| No | 意見概要 | ○意見に対する市の考え方 | 計画への反映 |
|----|---|---|--------|
| 5 | <p>②ふるさと納税について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税による市財政収入が増えていると思われるが、具体的な活用用途が一般市民には不明瞭なので、納税者の要望に対して市での活用ほどの程度マッチしているのかも含めて具体的な用途を明示いただきたい。 ・ちなみに、返礼品を生産している生産者としての要望でもある。 | <p>○ふるさと納税の活用状況につきましては市公式ホームページで公表しており令和6年度は「学校給食費軽減事業」や「体育施設改修事業」等、様々な事業へ活用させていただいております。</p> | なし |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神科が少なく、持病がある者にとって中野市で健康管理を十分に行いながら暮らすことが不可能。内科と精神科に通う必要があり、車で遠くの市町村まで通っている。 ・以前、市内医療機関を受診した際も酷い対応をされ、少しでも健康でない人には生きにくい中野市だと感じる。 | <p>○貴重なご意見として承ります。</p> | なし |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・中野市は、山ノ内町より水道水がまずく感じる。浄水場をもっと最新式にしておいしい水にしてほしい。 | <p>○貴重なご意見として承ります。</p> | なし |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・主題教育：自虐史観教育をやめ、日本人、中野市民であることに誇りを持ち、国際社会で自立できるような教育を学校で進めていくべきであり、学力より学習力が大切。 ・1-1-01について、所得上限は撤廃し、国策とは別に市でも毎月子供3歳未満：15,000円、3歳以上18歳まで：10,000円、第3子以降：30,000円（年齢問わず）泉大津市のような児童手当の導入をされたいかがか。 ・また少子化対策として、オムツ無料券、粉ミルク無料券、離乳食券など、子育てに必要な支援をし、市民の女性のための必要な無料生理用品券を配布するなどの政策をされたいかがか。民に対して、ミクロの視点で日々の生活に直結する政策が必要だと思う。（排外主義ではないことを前提に、外国人に生活保護は必要ない）教育基本的な条件の教育や方向性、ICT教育は、PISA国際学力調査のデータでも、読解力や数学的リテラシーの順位が低下していることが示されている。 | <p>○計画(案)p13「1-3-01小中学校教育の充実」でお示ししているとおり、全ての子どもたちが、安心して学べる教育環境づくりを進めていきたいと考えております。</p> <p>○児童手当につきましては、令和6年10月から本市でも同様の額で支給しており、国とは別に追加で支給することは考えておりません。</p> <p>○貴重なご意見として承ります。</p> | なし |

| No | 意見概要 | ○意見に対する市の考え方 | 計画への反映 |
|----|--|--|--------|
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・3-1-02 について、競争力のある産地体制の構築、政策としては農家を守る体制と捉えるが、具体的に農薬の使用を出来るだけ廃止にした新たな農業改革の取組をしていくことを進めたい。佐渡ではネオニコチノイド系農薬を禁止し、農業を根底から覆し、「朱鷺の福」というブランド米を販売している。こういった観点からコメ農家の意識改革をして推進していく事が重要だと思う。 ・また、そのような作物を市で買い取り、学校給食や保育施設へ提供する方向転換が必要ではないか。 ・まちが一体となった「自然と共生する里づくり協議会」（例）、環境にやさしい有機農業への転換に挑戦し、2-1-02 の医療高騰問題（市が負担している医療費対策）、5-1-02 のような移住者の対策（施設や共生サービスを向上しただけでは若い人は移住してきません）。 ・オーガニックに変わっていけば、日本が抱える食の問題、農業の問題、環境の問題、医療の問題、それら多くの難問に対し解決の糸口を示すことになると期待されている。子ども時代の食生活改善は、将来の社会の幸福と安定とに直結している。希望ある未来を手にするため、学校給食をオーガニックにしていくことが求められている。今、世界中でオーガニックの学校給食が進められている。どんな国、どんな地域でも、より良き社会に向けて、誰もが自分にできることから変革していくことが求められている。 ・利権が絡む問題もあると思うが、まずは他ではやってはいない政策が重要であると思う。ミクロな視点で市民が安心して子ども達を育てられる環境造りを提案する。 | <p>○貴重なご意見として承ります。</p> <p>○計画(案) p13「1-3-01 小中学校教育の充実」やp15「1-4-01 子どもの健全な育成の推進」でお示ししているとおり、地産地消に対応した給食の提供など、地域と連携した食育を進めていきたいと考えております。</p> <p>○貴重なご意見として承ります。</p> <p>○貴重なご意見として承ります。</p> | なし |